



成田 あれ・これ



令和4年10月号 第328号

発行：成田市観光協会
成田市花崎町839
0476-24-3198

新型コロナウイルスの影響によりイベントの変更や中止が生じる場合があります。
最新情報をご確認の上お出かけください。ご理解の程どうぞよろしくお願いいたします。
尚、イベントの情報は令和4年8月16日現在です。

成田弦まつり



成田の秋のイベントとして知られる成田弦まつり。成田山表参道の様々な場所で奏でられる弦楽器の演奏を中心に、門前成田寄席(落語)や成田のをどりパレードなど、様々なイベントが開催されます。

成田山へ続く参道を舞台に奏でられる、迫力のある「弦の饗宴」をお楽しみください。

【日時】10月15日(土) 10時30分～17時30分、10月16日(日) 10時30分～17時
15日は、津軽三味線中心の和の演奏、16日は様々な弦楽器の演奏が開催されます。

【場所】成田山表参道・西参道

☆成田山奉納 津軽三味線大演奏会☆

10月15日(土)16時10分～(雨天中止) 成田山大本堂前

当日14時より成田山大本堂脇にて着席整理券を配布します。

☆けやぐ三味線バトル☆ 若手奏者による白熱の発表会。全国大会の雰囲気を楽しめます。

10月15日(土) 成田山新勝寺総門前ステージ(12時～13時30分)

【交通規制】10月15日(土)10時～18時30分 10月16日(日)10時～17時30分

JR 成田駅前～薬師堂～成田山門前(鍋店角)及び薬師堂～幸町交差点

【お問合せ先】成田弦まつり実行委員会事務局(成田商工会議所内)TEL 0476-22-2101

第139回 成田山 菊花大会

明治16年より続く伝統行事です。成田山菊花会の奉納による盆栽や懸崖、鉢物などの多種多様な菊花を約1ヶ月間展示します。見頃は11月初旬です。

【日時】10月20日(木)～11月15日(火)

【お問合せ先】成田山新勝寺TEL 0476-22-2111(8時～16時)



10月の主な行事予定

航空科学博物館 イベント情報

「ANA お仕事体験」【日 時】10月2日(日)

「やさしい航空のはなし ～客室乗務員のおはなし(JAL)～」【日 時】10月16日(日)

【休 館 日】月曜日(月曜日が祝・休日の場合は開館し、翌日休館。)

【お問合せ先】航空科学博物館 TEL 0479-78-0557

千葉県立房総のむら 民家展示「昔の暮らし」

昭和30年代から40年代にかけての生活用品と写真を展示し、衣・食・住といった昔の暮らしを紹介します。今回の展示を通して、あの頃の風景をなつかしんだり、お子様などにその頃の記憶をつないでいきっかけにいただければ幸いです。

【日 時】10月1日(土)～11月13日(日)

【休 館 日】月曜日(月曜日が祝・休日の場合は開館し、翌日休館。)

【お問合せ先】千葉県立房総のむら TEL 0476-95-3333

いざ！成田詣へ～街道旅日記～その③

江戸市中から成田山までの旅の前に、江戸時代の庶民はどのような旅をしていたのか？を紐解いてみましょう。

参勤交代のために五街道や宿場が整備され、交通網が発達してくると、江戸の町に一大旅行ブームが起きました。また江戸時代も後期になると、町人が経済力をつけて、裕福な商人層を中心に、こぞって旅に出かけるようになります。この旅行ブームの火付け役となったのは、十返舎一九が書いた『東海道中膝栗毛』です。ご存じ、弥次さん喜多さんのコンビが、旅の道中で遭遇したハプニングや失敗談を面白おかしく書いたベストセラーです。この物語には、日本各地の名物などがふんだんに盛り込まれており、読んだ人々が「行ってみたい！」「よし！旅にでるぞ！」ということになり、旅行ブームが起こったのです。

江戸時代にも、旅行のガイドブックがありました。名所旧跡を絵入りで解説した『名所図会』です。今までは文章で各地を紹介するだけでしたが、詳細な絵を掲載したため、リアルに情報が伝わるようになりました。

江戸の旅は、徒歩になります。歩きなれた江戸時代の人達ですので、1日に10里(約40キロメートル)位は平気で歩いていました。江戸日本橋から京都までの東海道は、ざっと計算して男性の足で13日～15日、女性の足では16日位かかりました。



費用の方はどうでしょう。時代によっても多少異なりますが、宿と食事代で1泊およそ200文、川の渡し代が24文～100文、ワラジ代が1足15文でワラジは1日で2足はダメになってしまったそうです。これを元に計算してみると、東海道の片道の総額は4,500文～5,000文はかかりました。当時の大工さんの日収が約300文でしたので、日給の16日分となります。往復ですと約1ヶ月休まずに働いたお給金が丸々かかる計算となります。旅行ブームとはいえ、庶民にとって長距離の旅は、度々行けるものではなかったようですね。

江戸から成田山までは往復で3泊4日の旅でした。気軽に物見遊山がてらお詣りする。旅のしやすさも成田詣の人気といえるでしょう。【次回へ続く⇒】

☆イベント等の関連情報については、FEEL成田 (<https://www.nr tk.jp>) をご覧下さい。☆